

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



おう

## 王さまダビデ

(その1)



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
きよか  
許可されています。



ダビデは、あちらこちらと、にげまわっていました。それは、サウル王<sup>おう</sup>がダビデ<sup>ひと</sup>を殺<sup>す</sup>そうとさがしていたからです。あるとき、ダビデはだれも人の住<sup>にん</sup>んでいない<sup>あ</sup>荒<sup>ち</sup>れた地<sup>おお</sup>に、ものすごく大きいほら穴<sup>あな</sup>をみつけましたよ。ダビデは、400人の<sup>す</sup>けらいとそこに住むことにしました。



あっ、あぶない！はやくかくれて！ときどきサウルの兵士たちに、見つかりそう  
になります。でもね、ダビデは、いつもうまくにげていますよ。



サウルの召しつかいに、ドエグという人がいました。この人はサウルに、そっと  
い  
さいし  
たす  
言いました。「じつは祭司たちが、ダビデがにげるのを助けたんですよ。」それ  
し  
さいし ころ  
め  
を知ったサウルは、めいれいしました。「祭司を殺してしまえ！」召しつかいの  
なか  
中で、ただドエグだけが、よろこんでサウルのめいれいにしたがいました。かれ

は、ひどいことに、85人の祭司とその家族みんなを、  
さいし かぞく  
じぶん ころ  
自分のつるぎでさし殺しました。  
なんてひどいことでしょう。





ひ  
ある日、サウルは、ダビデを  
さがしながら、ちょうど見<sup>み</sup>つ  
けたほら<sup>あな</sup>穴の中へ、入っ<sup>なか</sup>てい  
きました。でもね、そのほら<sup>はい</sup>  
穴には、ダビデとけらい<sup>あな</sup>たち  
がかくれていたのです。サウ  
ルは、たった1人でしたよ。



あな

ほら穴の中にかくれていたダビデ、いまがチャンス  
です。かれは、いまサウルをかんたんに

ころ  
殺せるのです。さあ、ダビデはサウ

ころ  
ルを殺したでしょうか。いいえ、  
そのかわりにね、ダビデは、そう  
っとサウルにちかづき、みじ

と だ  
かいつるぎを取り出し、ゆ

うわぎ  
らゆらした上着のはしを

き と  
切り取った

あな で

のです。サウルがほら穴から出ていったとき、ダビデはうし

よ おう  
ろからついていき、サウルを呼びました。「サウル王、ダビ

すこ うわぎ き と  
デです。少しまえ、わたしは、あなたの上着のはしを切り取り

み ころ  
ました。さあ、見てください。わたしは、あなたを殺すことがで

ころ  
きた。でも殺さなかったのです。わたしは、あなたをにくむこと

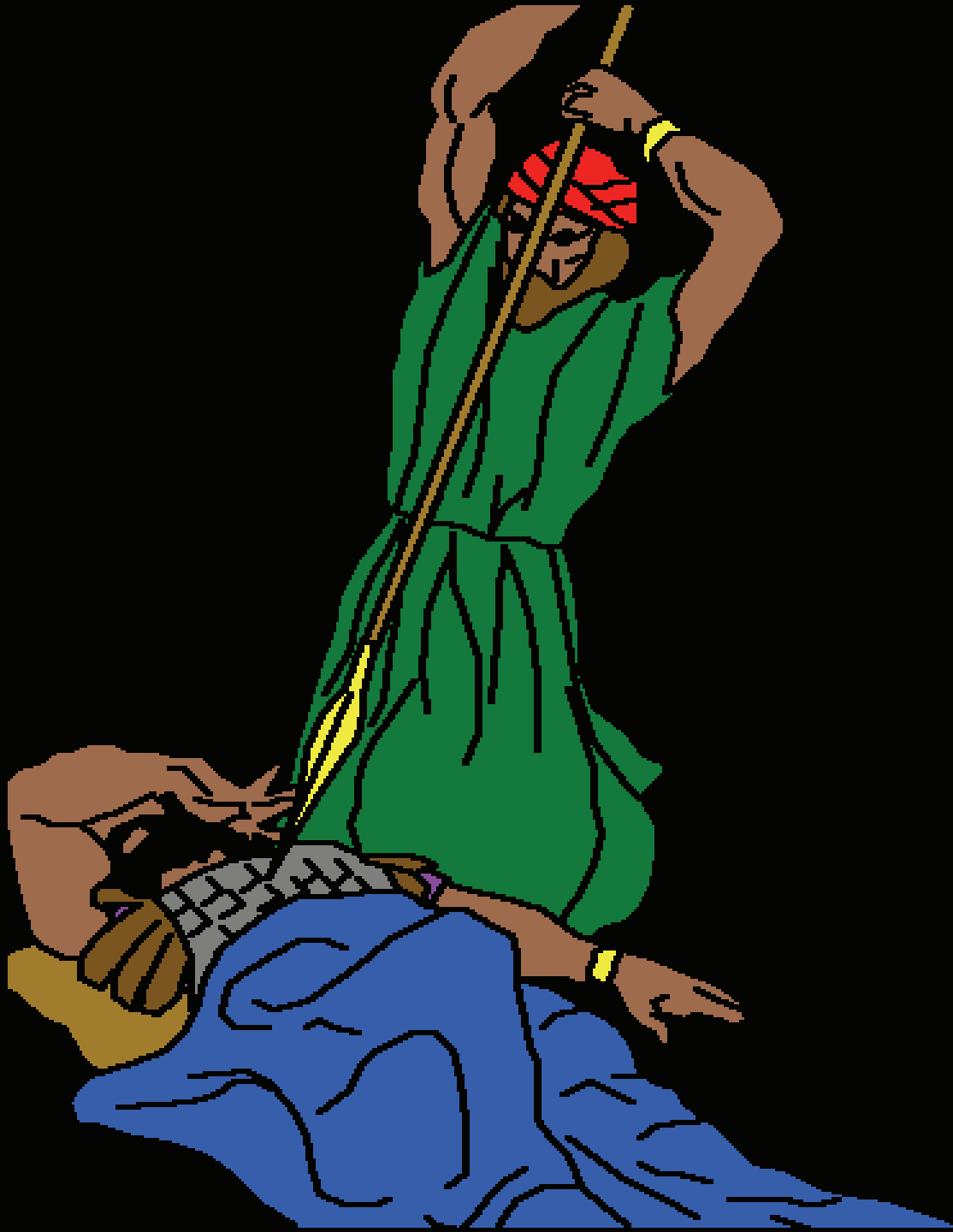
しかえ おも  
も、仕返ししようとも思っていないのです。



「なんと自分は、悪いやつだろう。」そのとき、サウルは、ダビデを殺そうとした自分を、心からはずかしく思いました。ところが、またすぐに、むかしのことを思い出し、ダビデへのにくしみと怒りの心が、わいてきました。そして、またしてもダビデを殺そうと、3000人もの軍をつくりました。ある夜、サウルの軍がねむっているとき、その軍のキャンプに、ダビデと1人の兵士アビシャイが、そっと軍のキャンプにしのびこみました。そこでは、サウル王がきもち良さそうにねむっていますよ。







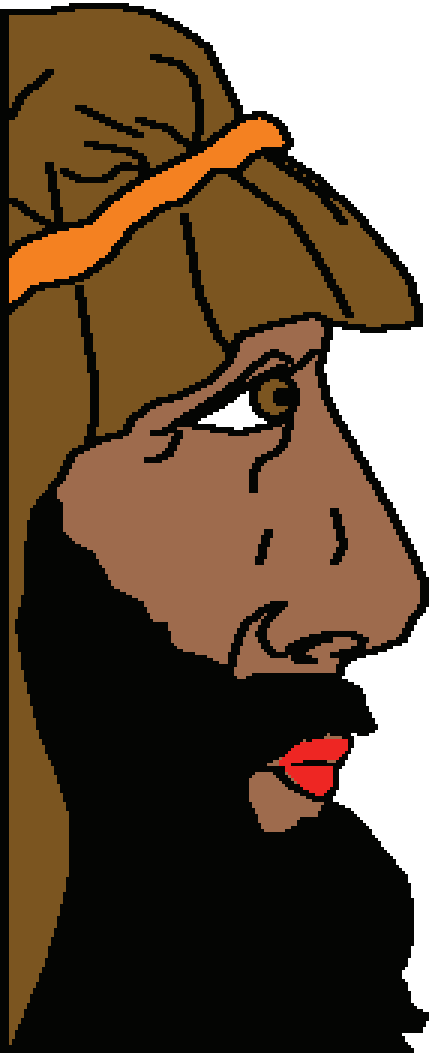
「ダビデさま、神さまはきょう、  
あなたのできサウル王を、あなた  
の手にくださっているのです。勝  
つことができるのです。」アビ  
シャイは、小さな声でささやきま  
した。「どうぞ、サウル王をわた  
しのやりで、殺させてください。  
たった一つきで殺せますから。」





けれどもダビデは、きっぱりと言いました。「殺  
してはならない。」そしてサウルのやりと、水のびん  
を取り、そのキャンプから出ていったのです。それから、  
むこうがわにある丘の上まで行き、こんどは大声でサウルにむ  
かってさげびました。サウルに聞こえるまで何でもね。またして  
も、サウルはダビデの気もちがわかりました。なぜなら、ダビデ  
は、殺そうと思えば、いつでもサウルを殺せたのです。でも殺さな  
かったのですね。そして、このときもまた、サウルはこう言いまし  
た。「ダビデ、あなたを殺そうとしたわたしは、なんて悪いやつ  
なのだろう。」ってね。でも、ダビデは、もうサウルのこと  
ばは、信じられませんでした。





このころ、サムエルはもうすでに亡くなり、こ  
よ  
の世にはいませんでした。このサムエルは、よ  
げん者しゃでしたね。そのむかし、神さまはサムエ  
ルにサウルに油そそぎをするように言われたの  
でしたね。それからイスラエルの王として、ダ  
ビデあぶらに油そそぎをするようにね。さてペリシテ  
じん  
人が、イスラエルをせめてきたときです。サウ  
ルが何かとても悪いことをしました。それは、  
神さまが、決してしてはいけないと言われてい  
たことでした。それは、どんなことでしょう。



サウルは、ある女おんなの人のところへ行きましたよ。そして、かの女じよに死んでしましったサムエルを、もういちどこの世よに呼ぶようにと、めいれいしたのです。  
その夜よるのことです。サウルは、どこからか、こいう言いわれているの  
が聞きこえました。



「・・・サウル、主しゅはあなたから、もうはなれてしまわれ  
た。そして、てきとなつてしまわれたのだ・・・。主しゅは、  
あなたの王国おうこくをとりあげられてしまい、それを、あなたが  
よく知っている人しひと、つまりダビデにあたえられるだろう。  
また、あすになれば、あなたとむすこたちは、死んでわた  
しが今いまいるところくに来るのだ。また主しゅは、こうも言われて  
いる。イスラエルの軍ぐんは負け、ペリシテにすべてをとりあ  
げられてしまうだろうと。」これを聞いたサウル、おそろ  
しさのあまり、たおれてしまいました。



じん

たたか

ペリシテ人は、イスラエルとはげしく戦い、イスラエルの男たちはみんな、とうとうにげてしまいました。

おとこ

にん

そのとき、ペリシテ人はサウルのむすこたち

ころ

も殺したのです。そう、  
ダビデのたいせつな友、  
ヨナタンもね。

とも



サウルもまた、弓でうたれ、体  
じゅうキズだらけです。そこでかれ  
は、よろいやかぶとをはこぶけらい  
に、言いました。「さあ、おまえの  
つるぎをぬき、わたしを殺しておく  
れ。悪いやつらがやってきて、わた  
しをつるぎでさし、ズタズタにして  
しまわないように。」けれども、け  
らいは、言いました。「王さま、そ  
んなことするなんて……。おそろ  
しくてできません。」そこで、サウ  
ルは、持っていたつるぎをぬき、そ  
の上に自分からたおれて死んでし  
まったのです。





「おい、サウルとむすこたちが死んでいる  
ぞ！」かれらを見つけたペリシテ人たちは、  
その死体をイスラエルの町まではこびまし  
た。そして、サウルたちの死体をこの町のか  
べにしっかりとはりつけたのです。今、この  
町は、もうペリシテのものなのですね。け  
れども、この町に、まだ何人かのゆう気あ  
るイスラエルの兵士たちがのこっていま  
した。これらの兵士は、サウルたちの  
死体をかべから下ろし、自分たちの家  
にもってかえりました。そして、火  
でもやして、イスラエルの  
地にうめてあげたの  
でした。

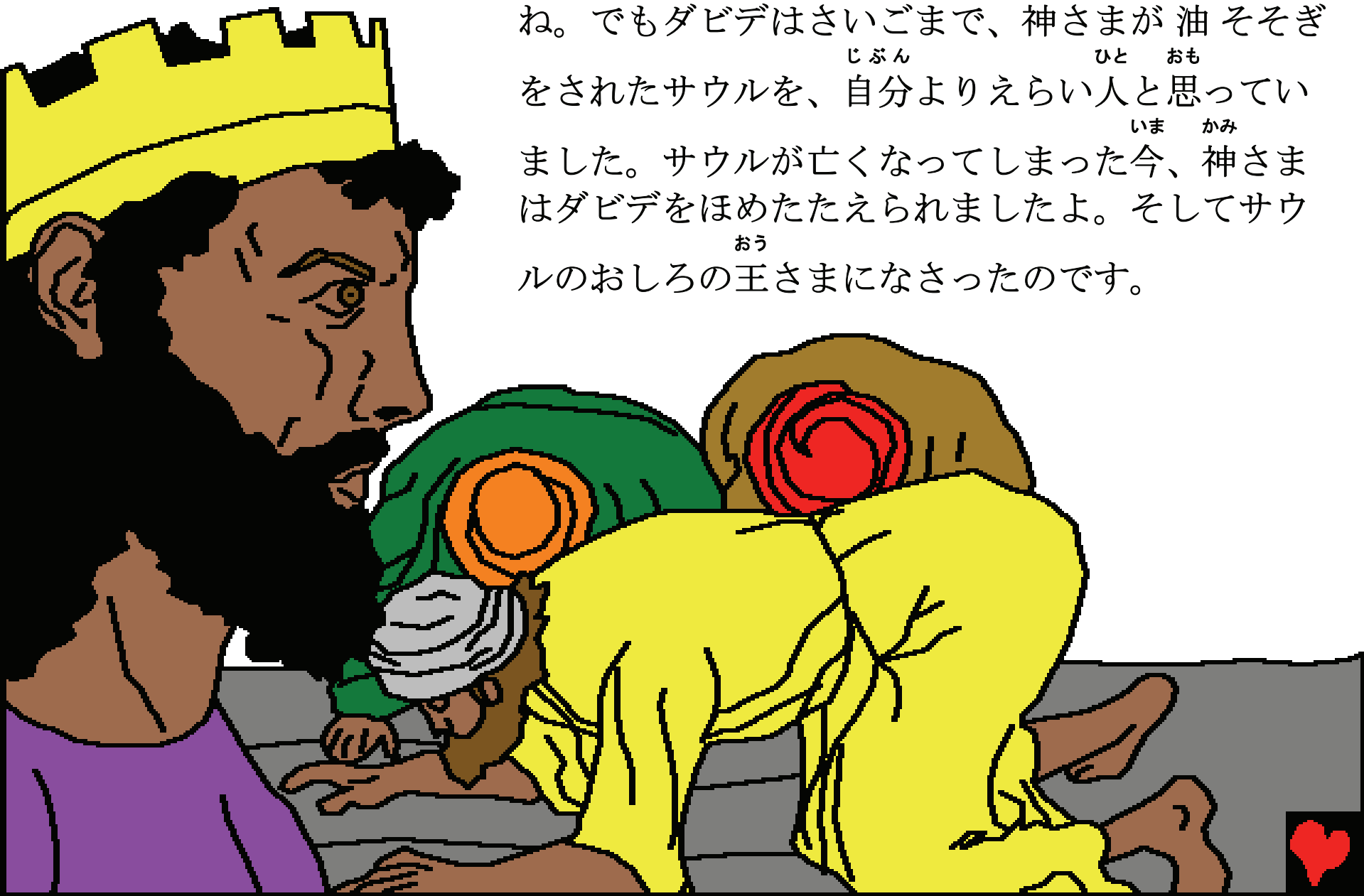






そのひどい知らせを聞  
いたダビデ、ほんとう  
にかなしくてたまりま  
せん。そして、サウル  
やヨナタン、神の民イ  
スラエルのことを思  
い、泣いて夕方まで何  
も食べませんでした。  
なぜなら、かれらはつ  
るぎによって死んでし  
まったのですから。





ころ  
サウルは、ダビデをなんども殺そうとしました  
ね。でもダビデはさいごまで、神さまが<sup>かみ</sup>油<sup>あぶら</sup>そそぎ  
をされたサウルを、自分より<sup>じぶん</sup>えらい人<sup>ひと</sup>とおも  
いました。サウルが亡くなってしまった<sup>いま</sup>今<sup>かみ</sup>、神さま  
はダビデをほめたたえられましたよ。そしてサウ  
ルのおしろ<sup>おう</sup>の王さまになさったのです。



おう  
王さまダビデ (その1)

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう きげ しょう しょう  
サムエル記上 24 章 - 31 章 ; サムエル記下 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っ<sup>おも</sup>ていらっ<sup>おも</sup>しゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっ<sup>かみ</sup>しゃいます。それを、神さま  
は、罪<sup>つみ</sup>とよばれています。その罪<sup>つみ</sup>のむくい<sup>し</sup>は、死<sup>し</sup>です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをと<sup>かみ</sup>ても愛<sup>あい</sup>していらっ<sup>ひとり</sup>しゃいますので、ただ一人<sup>こ</sup>のみ子<sup>こ</sup>イエス<sup>こ</sup>さまを、こ  
よ おく  
の世<sup>よ</sup>に送<sup>おく</sup>ってくださ<sup>つみ</sup>いました。そしてあなた<sup>つみ</sup>の罪<sup>つみ</sup>のため<sup>じゅうじかじょう</sup>に、十字<sup>な</sup>架上<sup>な</sup>で亡<sup>な</sup>くなられたのです。けれども  
それから、イエス<sup>てんごく</sup>さまはよみ<sup>てんごく</sup>がえられ、天国<sup>てんごく</sup>のいえへ、もど<sup>てんごく</sup>られたのですね。もし、あなたがイエス<sup>てんごく</sup>さ  
まを信<sup>しん</sup>じ、ゆる<sup>しん</sup>してくださいとおね<sup>しん</sup>が<sup>しん</sup>いするなら、イエス<sup>しん</sup>さまは、ゆる<sup>しん</sup>してくださいます！イエス<sup>しん</sup>さま  
は、今<sup>いま</sup>、あなた<sup>いま</sup>の所<sup>ところ</sup>へ来<sup>き</sup>て、あなた<sup>なか</sup>のこころ<sup>す</sup>の中<sup>なか</sup>に住<sup>す</sup>んでくださ<sup>す</sup>います。そして、いつ<sup>す</sup>までもイエス<sup>す</sup>さ  
まといっ<sup>い</sup>しょに生<sup>い</sup>きる<sup>い</sup>ことができますよ。

もし、あなたが、これがほん<sup>しん</sup>とうだ<sup>しん</sup>と信<sup>かみ</sup>じるなら、神<sup>い</sup>さまにこう<sup>い</sup>言<sup>い</sup>ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛<sup>あい</sup>する神<sup>かみ</sup>さま、私<sup>わたし</sup>は、あなた<sup>かみ</sup>が神<sup>しん</sup>さまと信<sup>しん</sup>じます。あなた<sup>ひと</sup>は人<sup>ひと</sup>となり、私<sup>わたし</sup>たちの罪<sup>つみ</sup>のため<sup>な</sup>に亡<sup>な</sup>くなっ  
てくださ<sup>い</sup>いました。そして、よみ<sup>い</sup>がえ<sup>い</sup>って、いま<sup>い</sup>生<sup>い</sup>きて  
いらっ<sup>わたし</sup>しゃいます。どうか、私<sup>わたし</sup>のこころ<sup>なか</sup>の中<sup>き</sup>に來<sup>つみ</sup>て、罪<sup>つみ</sup>をゆる<sup>つみ</sup>してください。それで、私<sup>わたし</sup>は今<sup>いま</sup>、あた  
らしい命<sup>いのち</sup>を<sup>いのち</sup>いただ<sup>いのち</sup>けます。そして、いつ<sup>い</sup>か、あなた<sup>い</sup>の所<sup>い</sup>へ行<sup>い</sup>き、いつ<sup>い</sup>までもあなた<sup>い</sup>といっ<sup>い</sup>しょに<sup>い</sup>いる  
こと<sup>い</sup>ができる<sup>い</sup>のです。あなた<sup>い</sup>にした<sup>い</sup>がえ<sup>い</sup>ますよう、あなた<sup>い</sup>の子<sup>い</sup>として<sup>い</sup>生<sup>い</sup>きる<sup>い</sup>ことができますよう、たす  
けて<sup>い</sup>ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書<sup>せいしょ</sup>をよみ、神<sup>かみ</sup>さまとおはなし<sup>ふくいんしょ</sup>しましょう！ ヨハネによる福音書<sup>ふくいんしょ</sup>3：16

